

2018年12月期 第1四半期業績

AGC

AGC 旭硝子

■ 2018年12月期 第1四半期業績	P.3
1. 業績のポイントと主要項目	P.4
2. セグメント別・地域別の状況	P.13
■ 2018年 通期業績の見通し	P.27
付属資料	P.35

2018年12月期 第1四半期業績

1. 業績のポイントと主要項目

売上高	3,725億円	前年同期比371億円（11.1%）の増収
営業利益	306億円	同 84億円（37.9%）の増益
税引前利益	344億円	同 151億円（77.9%）の増益
親会社の所有者に帰属する		
四半期純利益	248億円	同 48億円（24.2%）の増益

- ✓ 各事業の出荷数量増、前期に買収した企業の連結化などにより増収増益
- ✓ 営業利益の増に加え、その他収益の増加により税引前利益は大幅増益
- ✓ 前年同期に計上した台湾子会社の源泉税還付分は剥落

連結純損益計算書

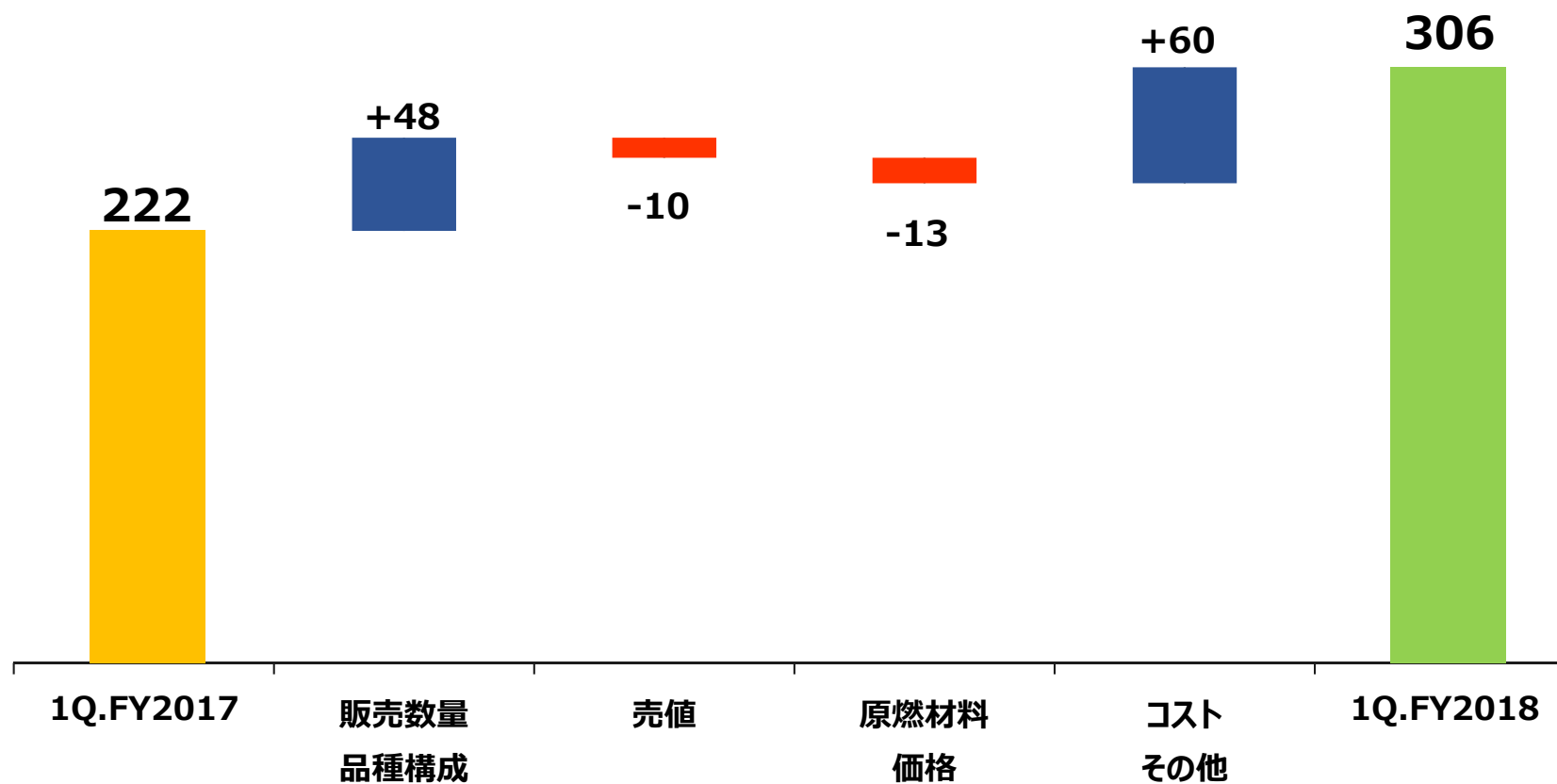
AGC

	1 Q			(億円)
	FY2017	FY2018	増減	
売上高	3,353	3,725	+ 371	← うち、為替差影響+67
営業利益	222	306	+ 84	
その他収支	-22	45		← その他収益のうち、
事業利益	200	351	+ 151	・ 子会社株式売却益+16
金融収支	-6	-7		・ 固定資産売却益+12
税引前利益	194	344	+ 151	・ 為替差益+12
法人所得税費用				
四半期純利益	221	273	+ 52	台湾子会社 源泉税還付+59
親会社の所有者に 帰属する四半期純利益	200	248	+ 48	
非支配持分に 帰属する四半期純利益	22	25		
為替レート	JPY/USD	113.64	108.30	
(期中平均)	JPY/EUR	121.08	133.22	
原油	\$/BBL (Dubai)	53.1	63.9	

営業利益増減要因分析(1Q.FY2018 vs. 1Q.FY2017)

前年同期比 84 億円増益

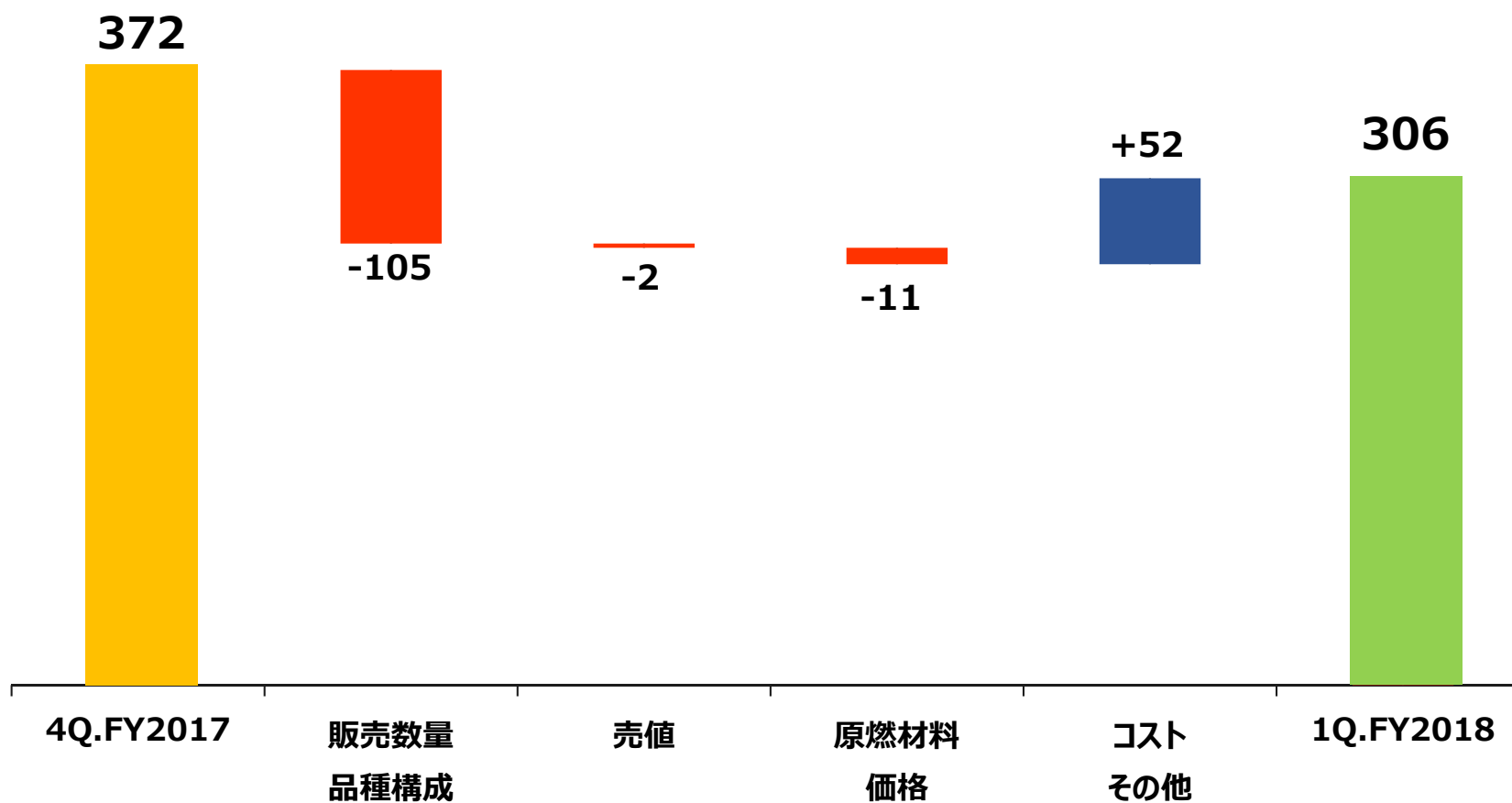
(億円)



営業利益増減要因分析(1Q.FY2018 vs. 4Q.FY2017)

前四半期比 65 億円減益

(億円)



連結財政状態計算書

AGC

	2017/12	2018/3	増減	(億円)
現金及び現金同等物	1,264	1,404	+ 139	
棚卸資産	2,617	2,584	- 33	
有形固定資産・無形 資産及びのれん	11,974	11,777	- 197	
その他	6,430	5,985	- 446	
資産合計	22,286	21,749	- 536	← うち、為替差影響 ▲584
有利子負債	4,891	5,044	+ 153	
その他	4,496	4,324	- 171	
負債の部	9,387	9,368	- 18	
親会社の所有者に 帰属する持分合計	11,840	11,314	- 526	← その他の資本の 構成要素▲667
非支配持分	1,059	1,066	+ 8	
資本の部	12,899	12,381	- 518	
負債及び資本合計	22,286	21,749	- 536	←
D/E比率	0.38	0.41		

連結キャッシュフロー計算書



	1 Q	
	FY2017	FY2018
	(億円)	
税引前利益	194	344
減価償却費及び償却費	311	303
運転資金増減	-4	-141
その他	48	-110
営業活動によるCF	549	397
投資活動によるCF	-999	-349
フリーキャッシュフロー	-450	48
有利子負債増減	122	240
支払配当	-104	-124
その他	-115	22
財務活動によるCF	-97	138
現金等に係る換算差額	-6	-47
現金等の増加額	-553	139

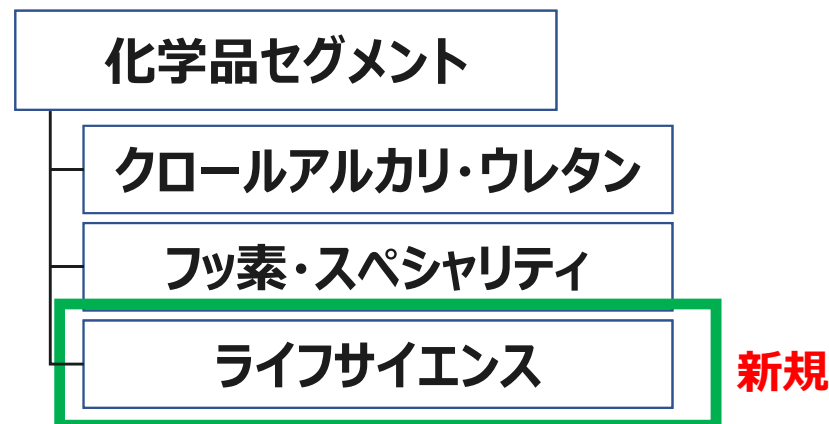
	1 Q (億円)	
	FY2017	FY2018
設備投資額	319	497
減価償却費	311	303
研究開発費	102	105

BLANK PAGE

2. セグメント別・地域別の状況

■ 開示区分・表示方法を以下の通り変更（2018.1Q～）

- ①「ライフサイエンス」をサブセグメントとして開示
（従来は「フッ素・スペシャリティ」内に含めて開示）

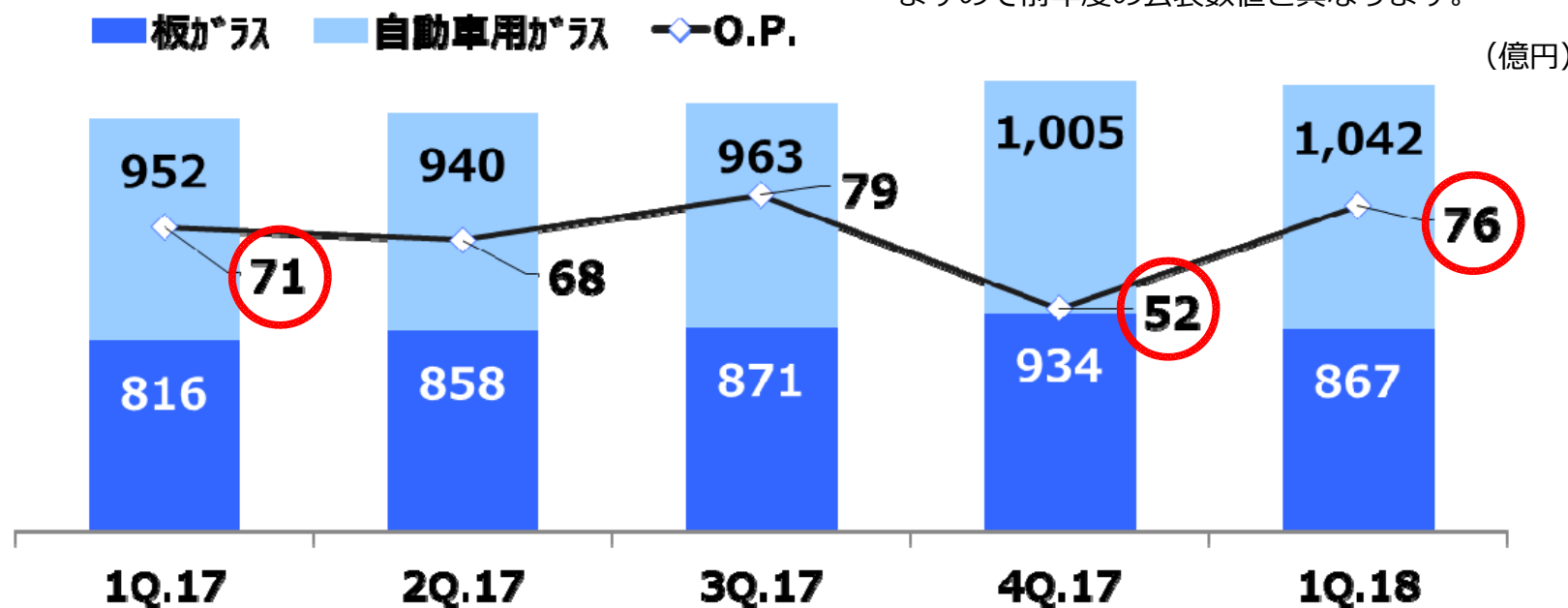


- ②全セグメントの地域別売上高を開示
（ガラスセグメントは、従来からサブセグメントの地域別売上高を開示）
- ③サブセグメントおよび地域セグメントの売上高を
「外部顧客への売上高」の内訳表示に変更
（従来は「セグメント間の売上高」を含む売上高の内訳を表示）

ガラス セグメント (1)

	1Q		
	FY2017	FY2018	増減
売上高	1,770	1,912	+142
板ガラス	816	867	+51
自動車用ガラス	952	1,042	+90
(セグメント間)	1	3	
営業利益	71	76	+5

* サブセグメントは外部顧客への売上高を表示していますので前年度の公表数値と異なります。



【前年同期比】

〔建築用ガラス〕 増収

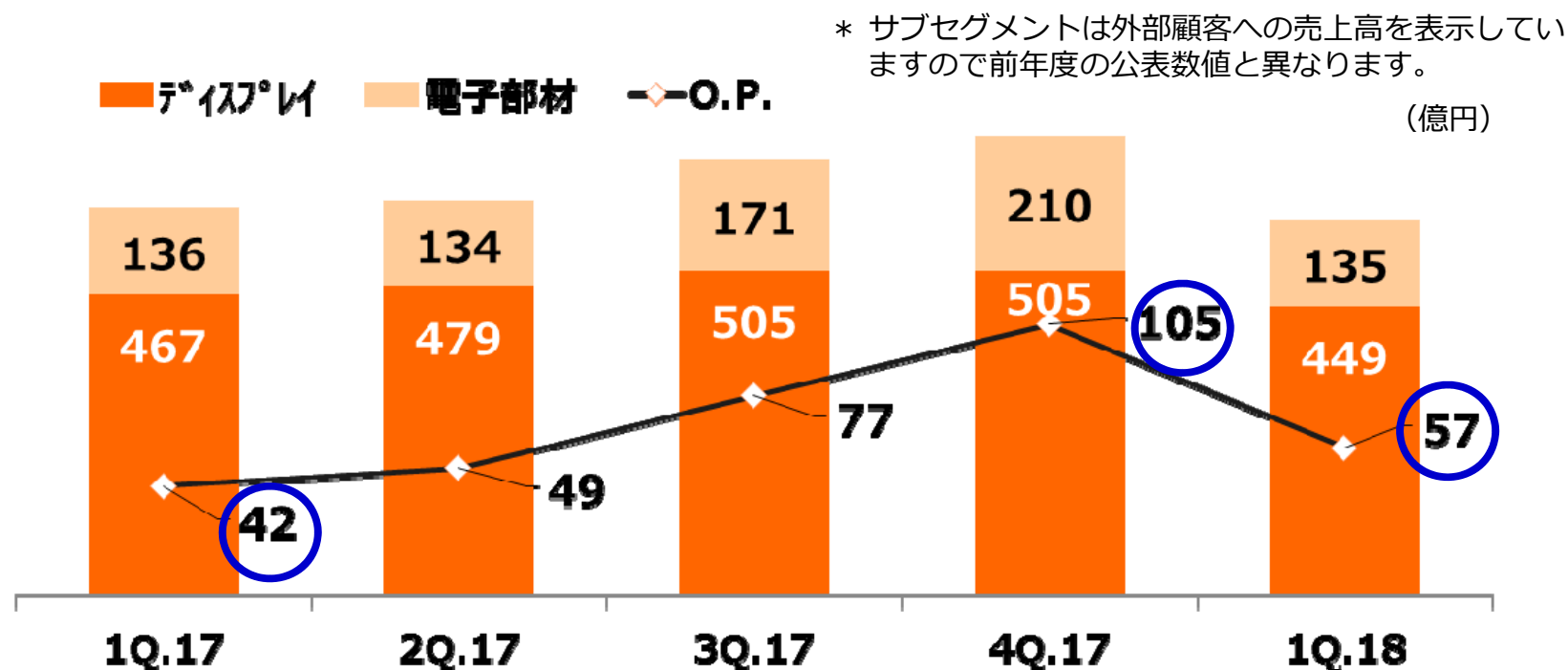
- 欧州で出荷が堅調
- ユーロ高の影響を受ける

〔自動車用ガラス〕 増収

- 全ての地域で当社グループの出荷が堅調に推移
- ユーロ高の影響を受ける

電子 セグメント (1)

	FY2017	1Q FY2018	増減
売上高	606	588	-18
ディスプレイ	467	449	-18
電子部材	136	135	-1
(セグメント間)	4	4	
営業利益	42	57	+16



【前年同期比】

〔ディスプレイ〕 減収

- 液晶用ガラス基板：販売価格は下落も、出荷が増加。
- ディスプレイ用特殊ガラス：出荷が減少
- 車載ディスプレイ用カバーガラス：出荷が増加

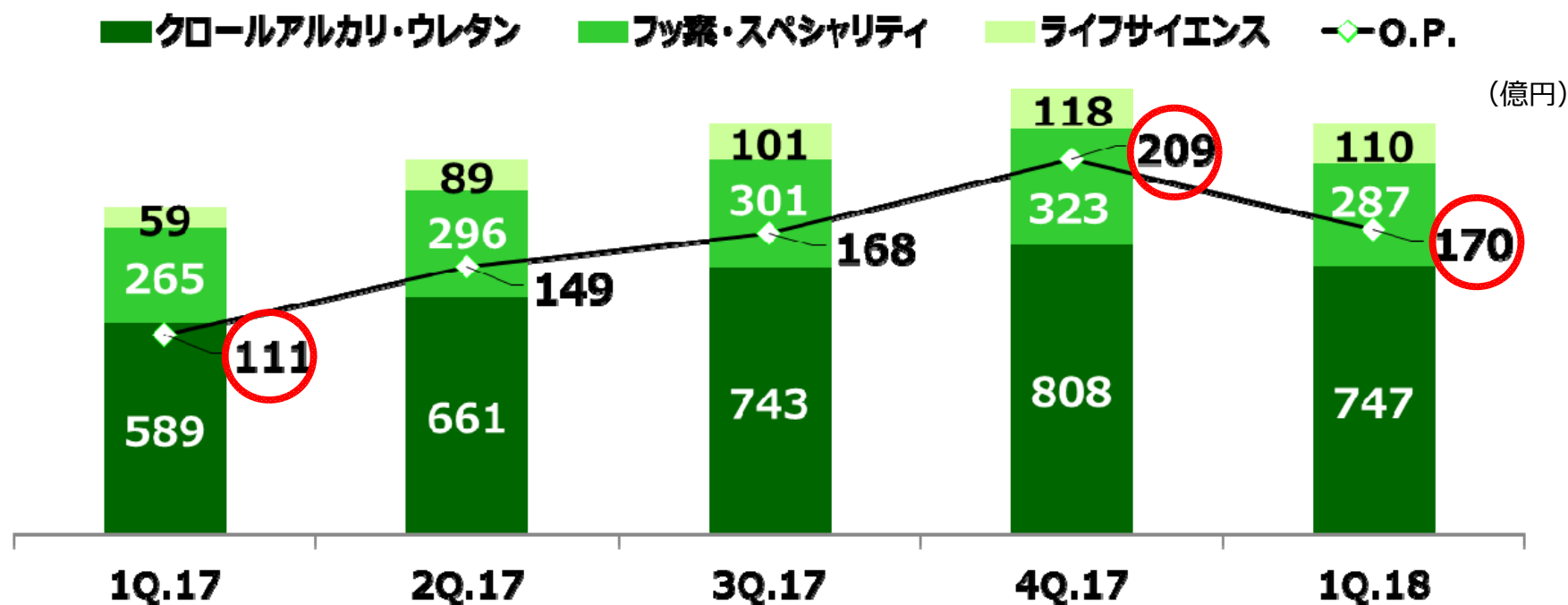
〔電子部材〕 前年並みの売上高

- オプトエレクトロニクス用部材の出荷が減少も、
半導体関連製品の出荷が増加

化学品 セグメント (1)

	1Q		
	FY2017	FY2018	増減
売上高	917	1,148	+231
クロールアルカリ・ウレタン	589	747	+158
フッ素・スペシャリティ	265	287	+22
ライフサイエンス	59	110	+52
(セグメント間)	4	3	
営業利益	111	170	+59

* サブセグメントは外部顧客への売上高を表示していますので前年度の公表数値と異なります。



【前年同期比】

〔クロールアルカリ・ウレタン〕 増収

- 国内および東南アジアでの苛性ソーダの販売価格が上昇
- 2017年3月から連結したビニタイ社のフル寄与

〔フッ素・スペシャリティ〕 増収

- 半導体関連製品向けのフッ素樹脂をはじめとする
フッ素関連製品の出荷が堅調に推移

〔ライフサイエンス〕 増収

- 2017年2月から連結したCMCバイオロジックス社のフル寄与

セグメント別業績 前年同期比較

(億円)

	1Q		増減	増減%
	FY2017	FY2018		
売上高	3,353	3,725	+ 371	+11.1%
ガラス	1,770	1,912	+ 142	+8.0%
電子	606	588	- 18	-2.9%
化学品	917	1,148	+ 231	+25.2%
セラミックス・その他	151	183	+ 32	+21.2%
消去	-91	-107	-16	-
営業利益	222	306	+ 84	+37.9%
ガラス	71	76	+ 5	+7.1%
電子	42	57	+ 16	+37.9%
化学品	111	170	+ 59	+52.9%
セラミックス・その他	-3	3	+ 6	-
消去	1	0	-1	-

セグメント別業績 前四半期比較

(億円)

	4Q.FY2017	1Q.FY2018	増減	増減%
売上高	3,996	3,725	- 271	-6.8%
ガラス	1,944	1,912	- 31	-1.6%
電子	719	588	- 130	-18.1%
化学品	1,252	1,148	- 104	-8.3%
セラミックス・その他	229	183	- 46	-20.1%
消去	-148	-107	+ 41	-
営業利益	372	306	- 65	-17.6%
ガラス	52	76	+ 24	+45.6%
電子	105	57	- 47	-45.2%
化学品	209	170	- 39	-18.9%
セラミックス・その他	5	3	- 2	-48.7%
消去	0	0	- 0	-

地域別業績 前年同期比較

1Q

(億円)

	FY2017	FY2018	増減	増減%
売上高	3,353	3,725	+ 371	+11.1%
日本・アジア	2,202	2,403	+ 201	+9.1%
アメリカ	376	422	+ 46	+12.3%
ヨーロッパ	775	899	+ 124	+16.0%
営業利益	222	306	+ 84	+37.9%
日本・アジア	271	328	+ 57	+20.9%
アメリカ	10	15	+ 5	+48.2%
ヨーロッパ	22	45	+ 23	+105.7%
地域共通費用	-81	-82	- 0	-

* 外部顧客向け売上高の内訳表示とし、併せて営業利益を調整していますので、17年度は前年度の公表数値と異なります。

地域別業績 前四半期比較

(億円)

	4Q.FY2017	1Q.FY2018	増減	増減%
売上高	3,996	3,725	- 271	-6.8%
日本・アジア	2,703	2,403	- 299	-11.1%
アメリカ	420	422	+ 3	+0.6%
ヨーロッパ	873	899	+ 26	+2.9%
営業利益	372	306	- 65	-17.6%
日本・アジア	444	328	- 116	-26.2%
アメリカ	17	15	- 2	-12.7%
ヨーロッパ	18	45	+ 27	+147.1%
地域共通費用	-108	-82	+ 26	-

* 外部顧客向け売上高の内訳表示とし、併せて営業利益を調整していますので、17年度は前年度の公表数値と異なります。

売上高 セグメント・地域別展開

		日本・ アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメ ント間	合計	(億円)
板ガラス	1Q.FY2018	276	112	479	-	-	
	1Q.FY2017	286	106	424	-	-	
自動車ガラス	1Q.FY2018	519	193	331	-	-	
	1Q.FY2017	475	183	295	-	-	
ガラス	1Q.FY2018	795	305	810	3	1,912	
	1Q.FY2017	761	289	719	1	1,770	
電子	1Q.FY2018	541	33	11	4	588	
	1Q.FY2017	570	24	8	4	606	
化学品	1Q.FY2018	982	85	78	3	1,148	
	1Q.FY2017	802	63	48	4	917	
セラミックス ・その他	1Q.FY2018	86	-	-	97	183	
	1Q.FY2017	70	-	-	81	151	
消去	1Q.FY2018	-	-	-	-107	-107	
	1Q.FY2017	-	-	-	-91	-91	
合計	1Q.FY2018	2,403	422	899	-	3,725	
	1Q.FY2017	2,202	376	775	-	3,353	

* 17年の地域別売上高を外部顧客向け売上高の内訳に調整していますので前年度の公表数値と異なります。

為替換算・連結範囲変更の影響（前年同期比較）

AGC

(億円)

売上高	全社計*	ガラス	電子	化学品
1Q.FY2018	3,725	1,912	588	1,148
前年同期比	+ 371	+ 142	- 18	+ 231
[以下影響を除く前期比]	+ 150	+ 99	- 20	+ 56
為替換算の影響	+ 67	+ 60	+ 3	+ 4
連結範囲変更の影響	+ 154	- 16	-	+ 170

*全社計には、セラミックス・その他、および消去の数値が含まれる為、各セグメントの合計とは一致しない

2018年 通期業績の見通し

売上高	15,500億円	前期比 865億円(5.9%)の増収
営業利益	1,300億円	同 104億円(8.7%)の増益
税引前利益	1,180億円	同 36億円(3.1%)の増益
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	770億円	同 78億円(11.2%)の増益

2018年 通期業績見通しの主要項目

		FY2017	FY2018 予想	増減	増減%	(億円)
売上高		14,635	15,500	+865	+5.9%	
営業利益		1,196	1,300	+104	+8.7%	
税引前利益		1,144	1,180	+36	+3.1%	
親会社の所有者に 帰属する当期純利益		692	770	+78	+11.2%	
一株当たり配当金 (円) ^{*1}		105	110			
営業利益率		8.2%	8.4%			
ROE		6.1%	6.5% ^{*2}			
為替レート(期中平均)	JPY/USD	112.19	110.0			
	JPY/EUR	126.67	135.0			
原油	\$/BBL(Dubai)	53.2	65.0			

*1 当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。一株当たり配当金は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

*2 FY2018予想のROEは、2017年12月末時点の親会社の所有者に帰属する持分合計を使用しています。

〔ガラス〕

堅調な需要に支えられ、業績は回復へ

- 建築用ガラス
 - 多くの地域で出荷は増加
 - 欧州の売値は前年レベルを維持
- 自動車用ガラス
 - 欧州 : 堅調な需要に支えられ、高いレベルの出荷が継続
生産性の改善がコスト改善に寄与
 - アジア : 前年の生産トラブルが解消、安定生産に目途

〔電子〕

液晶用ガラス基板は価格下落幅縮小

戦略事業が引き続き成長

- ディスプレイ

- 液晶用ガラス基板

- 出荷は堅調に推移、価格下落幅は前年比縮小を見込む

- ディスプレイ用特殊ガラス

- 出荷は堅調

- 車載ディスプレイ用カバーガラス

- 出荷は堅調、量産体制確立し収益に寄与

- 電子部材

- 半導体関連製品の出荷が堅調に推移

- EUV露光用フォトマスクブランクスなどの新しい製品が順調に出荷を拡大

〔化学品〕

東南アジアでの旺盛な需要を背景にクロールアルカリが堅調
ライフサイエンスが順調に売り上げを伸ばす

- クロールアルカリ・ウレタン

- 東南アジアの出荷は引き続き好調

- 自家発電所の立上げがコストダウンに貢献

- フッ素製品

- 前年に引き続き高いレベルの出荷を維持

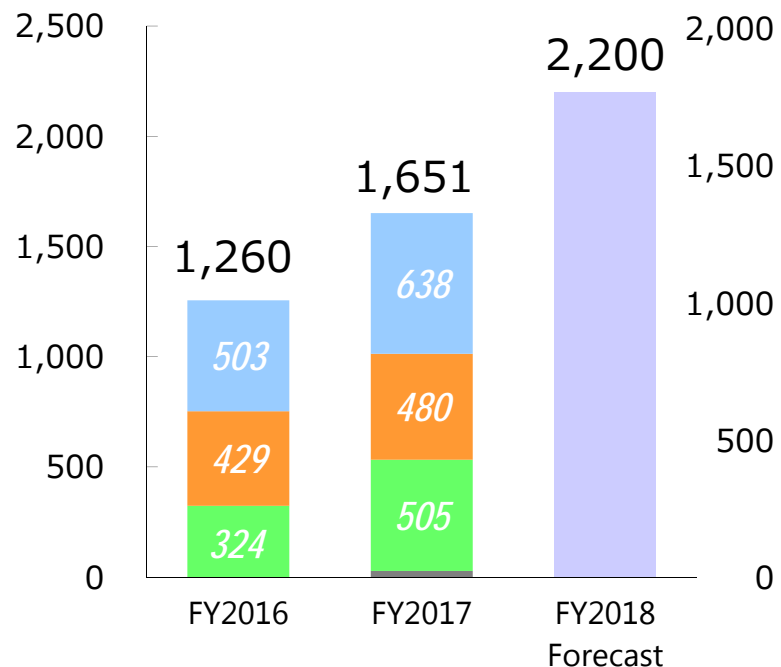
- ライフサイエンス

- バイオ医薬、合成医薬ともに出荷好調

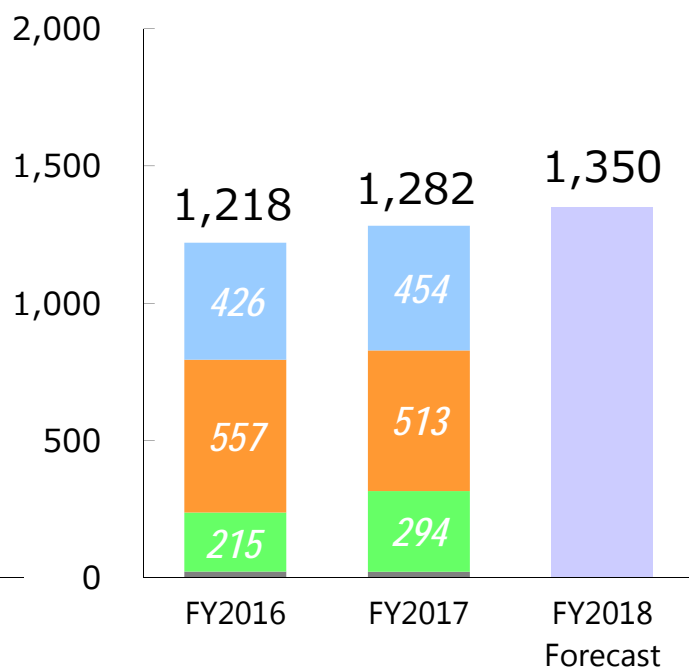
設備投資・減価償却費・研究開発費

(億円)

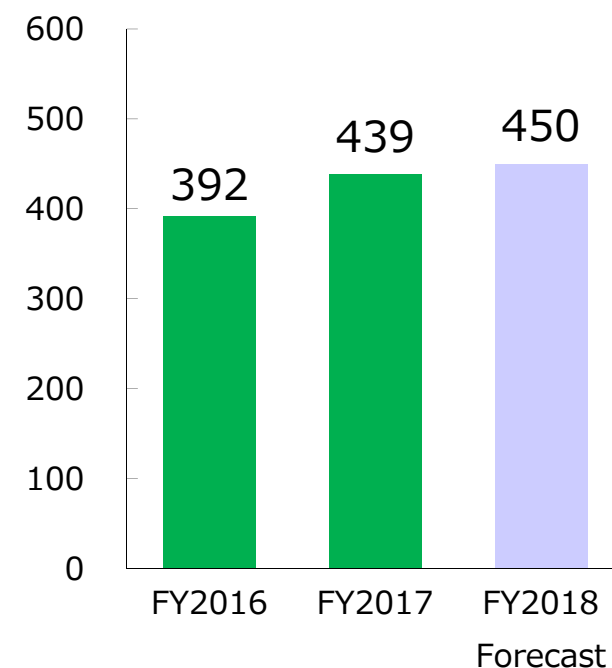
設備投資



減価償却費



研究開発費

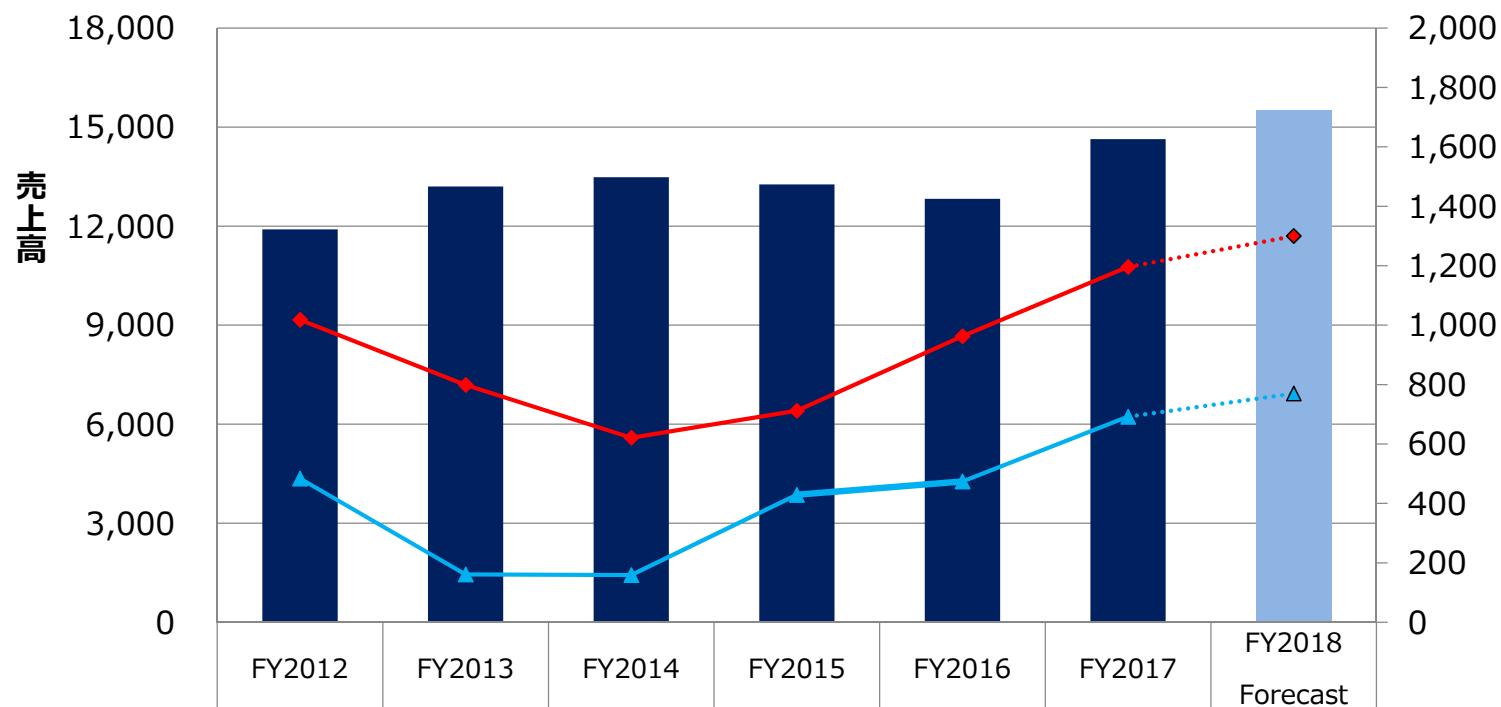


■ ガラス
 ■ 電子
 ■ 化学品
 ■ セラミックス・その他

付属資料

通期業績の推移

(億円)



営業利益・親会社の所有者に帰属する当期純利益

■ 売上高	11,900	13,200	13,483	13,263	12,826	14,635	15,500
◆ 営業利益	1,018	799	621	712	963	1,196	1,300
▲ 親会社の所有者に帰属する当期純利益	484	161	159	429	474	692	770
営業利益率	8.6%	6.1%	4.6%	5.4%	7.5%	8.2%	8.4%
一株当たり配当金	¥130	¥90	¥90	¥90	¥90	¥105	¥110

*当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。
一株当たり配当金は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

		IFRS					
		12/12	13/12	14/12	15/12	16/12	17/12
自己資本当期純利益率(ROE) ^{*1}	%	5.8%	1.6%	1.4%	3.9%	4.3%	6.1%
総資産営業利益率(ROA) ^{*2}	%	5.6%	4.0%	3.0%	3.5%	4.8%	5.7%
自己資本比率	%	47%	51%	54%	55%	55%	53%
D/E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.56	0.50	0.42	0.40	0.37	0.38
営業CF/有利子負債	倍	0.32	0.29	0.27	0.40	0.47	0.42
一株当たり当期純利益 (EPS) ^{*3}	円	209.51	69.85	68.85	185.60	205.14	302.12
EBITDA ^{*4}	億円	2,000	1,866	1,859	2,284	1,958	2,499

*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均)

*2 営業利益/総資産 (期中平均)

*3 当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。一株当たり当期純利益は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

*4 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息

為替レート		FY2017					FY2018	
		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	年間	1 Q	年間
円/ドル	期中平均	113.64	111.09	111.03	112.98	112.19	108.30	110.0*
	期末	112.19	112.00	112.73	113.00	113.00	106.24	
円/ユーロ	期中平均	121.08	122.19	130.38	133.01	126.67	133.22	135.0*
	期末	119.79	127.97	132.85	134.94	134.94	130.52	

*4 FY2018の前提

発表日	内容
1月9日	バイオサイエンス事業の一体運営を開始
1月16日	深紫外LED用石英レンズを開発
2月5日	国内建築用ガラス関連製品の価格を改定
2月5日	EUV露光用フォトマスク blanks 供給体制を大幅増強
3月6日	AGC Biologics社のバイオ医薬品培養能力を増強
3月22日	次世代パワー半導体材料のノベルクリスタルテクノロジー社に出資
4月6日	ミャンマーにマーケティング拠点を開設

(ご参考) 2017年サブセグメント別売上高

		1Q	2Q	3Q	4Q	(億円) 通期累計
ガラス	板ガラス	816	858	871	934	3,479
	自動車ガラス	952	940	963	1,005	3,860
		1,768	1,798	1,834	1,939	7,340
電子	ディスプレイ	467	479	505	505	1,955
	電子部材	136	134	171	210	651
		603	613	676	715	2,606
化学品	クロールアルカリ・ウレタン	589	661	743	808	2,800
	フッ素・スペシャリティ	265	296	301	323	1,185
	ライフサイエンス	59	89	101	118	366
		912	1,046	1,145	1,249	4,351
セラミックス・その他		70	91	84	93	338
合計		3,353	3,546	3,740	3,996	14,635

* 外部顧客への売上高を表示していますので前年度の公表数値と異なります。
また、未監査の数値が含まれます。

予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は旭硝子株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。



AGC旭硝子

〒100-8405
東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
新丸の内ビルディング

問い合わせ先：広報・I R部
E-mail : investor-relations@agc.com
Tel : 03-3218-5096
Fax : 03-3201-5390

www.agc.com